

伐採竹のチップ化・敷き均し処分により約15%のコスト縮

整備後



整備前



河川の高水敷や堤防に繁茂する樹木や篠竹は、河川断面を阻害することから伐採が必要となりますが、多額の伐採費や処分費がかかることや、近年の維持管理費の減少により伐採処分が進んでいません。そこで、水戸土木事務所管内の涸沼川においては、伐採した竹を現地でチップ化し堤防上に敷き均すことにより、処分費の縮減と防草効果により除草費の縮減を図っています。

チップ化・敷き均しにより約15%のコスト縮減を図っています。

現在、防草効果と堤防への影響について検証を実施しています。

竹のチップ化作業



竹伐採及びチップ材敷き均し横断面図

